

新しい薬学をめざして

Vol.42 No.5
2013.7.1

発行 新薬学研究者技術者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8 E-mail shin-yakugaku@tea.ocn.ne.jp
(有)大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463
TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL http://pha.jp/shin-yakugaku/



福島の間 (その4)

ここで生活していかなければならない

佐藤政男

現在の福島の大きな問題は、“人々の分断化”，“除染”，“今後の見通しのない生活再建” “東電の補償への不誠実さ”，“政府の収束宣言に基づく支援打ち切り続出”，“若い人たちの健康への不安”，“最近の電源喪失に見られる原発の安全性不安と東電の反省のなさ”，“風評被害の大きさ”，“安倍政権の相次ぐ再稼働・新設宣言” “住民の帰還困難” “地下貯水槽からの汚染水もれ”，“敷地内貯蔵タンクの容量があと2年しかない” など限りなくある。復旧への試みが懸命になされていて心強いニュースもあるが、歩みは遅い。

一つ一つの状況や複雑な思いが異なり、それを理解しなければ支援など覚束ないと思うが、こちらに戻って日が浅く、それぞれの場に接しているわけでもない私にとっては難問である。実際、支援して下さる方々と受け止め方に一部で少しズレが生じている場合もある。その間を少しでも埋めるのが私の役割と考えているが、文章が長くなったり、要領を得ない場合もあると思う。辛抱しておつきあいをお願いいたします。

疲れ切っている県民

2年を過ぎた被災3県の県民は疲れ切っているとの声大きい。福島の中でも多く聞かれる。先日、旧職場の大学へ挨拶に伺い、たまたま会った教職員に状況を聞いてみた。

「放射能の影響をまったく心配ないという研究者と健康への影響を強く懸念する研究者がいて、折々に出てくる。どちらを信じていいかわからない。こういう状況が2年間続いていて私はもう疲れた」というのである。さらに、「私と近い、県外の友達は、『福島に住んでいて

目次

□福島の間 (その4) 佐藤政男 …………… 85	□今日も明日も日曜日 (27) 三原啓子 …………… 6
□ミニゼミ：店舗販売業の勤務薬剤師とOTC薬 成子信喜 …………… 88	□新薬学者集団2013年度総会の報告 …………… 7
□ミニゼミ：SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）入門 藤竿伊知郎 …………… 90	□会員だより2013 …………… 7
□やっぱり大事 食品衛生監視員のしごと (5) 佐々僚己 …………… 94	□第11回運営委員会報告 …………… 1(2)
	□第1回運営委員会報告 …………… 1(2)